

梅若会定式能

能
經

政

鈴木
矜子



能
芭

蕉

梅若長左衛門



舞囃子
融

高橋

栄子

令和六年九月十五日(日)
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円



<https://umewaka.org>

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人 日本芸術文化振興会



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

舞囃子
融

高橋 栄子

柿原 孝則
大川 典良

『経政』 つねまさ 琵琶の名手で仁和寺御所の寵愛を受けていた平経政は、出陣の直前に御所より拝借していた唐渡来の名器「青山（せいざん）」をお返しして都を離れる。その後、経政は討死し、その知らせに御所では仏前に「青山」を供えて、僧都行慶が供養を行うことになった。夜を徹して音楽を奏で一心に弔っていると、灯火の影に経政の亡霊の姿がおぼろげに浮かび、手向けを喜び自ら琵琶をかきながら、亡霊は時を忘れ音楽を樂しむが、突然修羅の苦しみに襲われ、猛火に苦しむ姿を恥じた亡霊は、自ら灯火に飛び入り火を吹き消し姿を消す。

能
経
政
鈴木 矜子

大日方 寛

柿原 孝則
藤田 次郎

田邊 恭資

『芭蕉』 しばしう 所は唐土。楚国の湘水しよすいといふ所に山居して日夜読経する僧のもとへ、夜な夜な夢現のうちに訪れてくる女がある。不審に思つた僧はある月夜、今日も現れた女にその身を尋ねた。女はこの辺に住む者と名乗り、ありがたひ御経を聞くのが嬉しくて花を捧げて礼拝して仏縁を結ぶ者だといひ、内へ入れて聴聞させてくれと乞う。僧がそれを許して静かに薬草諭品を説いて聞かせると、喜んだ女はしかし月影に姿の見えるのを恥じて、「雪の中の芭蕉の偽れる姿」と言い残すと鐘の音とともに消えた。非情の芭蕉と詞を交わした奇特に、僧がなお夜もすがら読経していると、芭蕉の精が再び姿を現す。一花開けて四方の春となれば楊梅桃李はとりどりに咲いて色香を競う。春が過ぎ夏も終われば庭の萩には早くも秋風が訪れ、じきに古寺の軒の草や芭蕉葉には寂しく露がこぼれ、蓬もよもぎも秋風が訪れ、じきに古寺の軒の草。それば諸法実相で思えば定めのないこの世は芭蕉葉のように見えない。そう説きつつ、芭蕉の精は、美しい舞を舞うように見えたが、折しも山嵐が吹き払い、草も千草も散りちりになるかと思ふ間に、その姿は消え、庭にはただ破れた芭蕉葉のみが残っていた。

狂言

腹不立

山本 泰太郎

若松 隆

山本 則秀

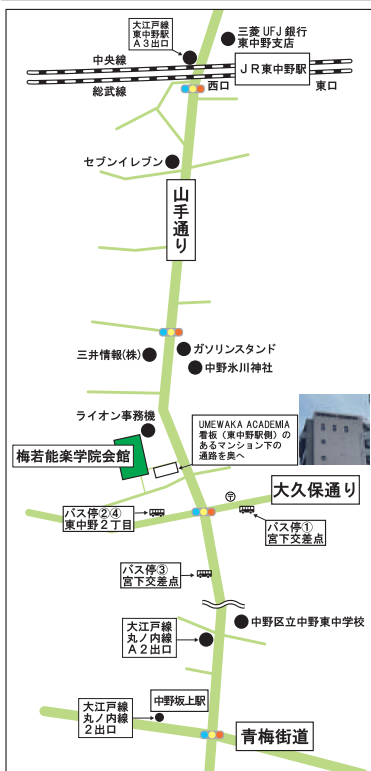
能
芭
蕉
梅若長左衛門

宝生 常三

白坂 信行

観世新九郎

＜JR線＞
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
＜地下鉄＞
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
＜バス＞
①関東バス（宿05：中野駅経由）
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス（宿05：中野駅経由）
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス（渋64：中野坂上経由）
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス（渋64：中野坂上経由）
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
*当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
東京都中野区東中野2-6-14
（公財）梅若会
（梅若能楽学院会館）
TEL：03-3363-7748
FAX：03-3363-7749



【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円（指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい）
- ◆チケットは梅若会 HP からメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。（<https://umewaka.org/> TEL 03-3363-7748（不定休）・FAX 03-3363-7749）
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ（荷物お預かり）は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒（抗菌）コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。
- ◆観能に際してのお願い
主催者の許可のない公演中の写真撮影、録音等は著作権、肖像権等の侵害および他のお客様のご迷惑になりますので固くお断り致します。（開演前、休憩中のみ舞台の撮影は可能です。）
- ◆主催：公益財団法人 梅若会

